

つながりトレーニング を生かした授業

(略案集)



つながりトレーニングを生かした授業(国語)

単元名・教材名	言葉を受け継ぐ・平家物語
教科の目標	<p>○古典に対して関心をもち、その面白さや楽しさを知り、進んで読もうとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○登場人物の考え方・生き方を知り、現代人と比較しながら自分なりの考えをもつことができる。 【読むこと】</p> <p>○仮名遣いや語句の意味を理解し、古文独特のリズムに注意しながら音読することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p>
人権教育上の目標	<p>●友達によさをみつけて伝えたり、自分のよさをさらに伸ばそうとしたりする。 【自尊・他尊】</p> <p>●自分の考えを友達にわかりやすく伝えたり、友達の考えを聴き、その考えに対して自分なりの考えをもったりする。 【コミュニケーション】</p>

単元計画【全4時間】

教科		人権教育	
学習内容	評価規準	人権教育の視点	評価規準
1 平家物語について特徴やその時代背景を調べる。	平家物語に関心をもち、進んで音読しようとしている。	音読練習場面において、お互いのよさを認めあう。	友達によさを見つけ、わかりやすく伝えることができる。
2 リズムを意識しながら音読し、大体の内容を理解する。	現代語訳を参考にして、大体の内容を理解している。	音読練習方法を考える場面において、お互いの考えを出し合う。	互いの考えを交流し、そこから自分たちに適した方法を考えることができる。
3 登場人物の心情を読み取る。	現代語訳を参考にして、古文から登場人物の心情を読み取っている。	心情を読み取る場面において、友達の意見を尊重しながら、話し合いをする。	友達の考えを参考にし、自分の考えを深めることができる。
4 今の人と昔の人のものの考え方を比較し、自分の考えをもつ。	今の人と昔の人の考え方の共通点や相違点を見つけ、そこから自分の考えをもつことができる。	学習のまとめの場面において、友達の考えを生かしながら、自分なりの考えをもつ。	話し合いを通して、友達の考えを参考にし、自分の考えを深める。

学習展開計画【第1時】

本時のねらい	平家物語の内容や文体の特徴がわかり、リズムよく音読することができる。
人権教育の視点	音読練習の場面において、よりよい音読にするために、お互いのよさを認め合いながら改善点を伝え合う活動を取り入れる。
準備	<p>【教師】 音読カード・ワークシート・ワークシートを拡大した模造紙(提示用)</p> <p>【生徒】 教科書・ノート・資料集・ワーク</p>

時間	学 習 活 動	ポ イ ン ト
	<p>・ 本時の課題を確認する。</p> <p>平家物語の特徴やその時代背景などを調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>・ 平家物語について知っていることを発表する。</p> <p>・ 平家物語の特徴を調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>・ 調べたことをワークシートに沿って発表する。</p>	<p>・ 平家物語の特徴を調べやすいように、ワークシートに調べる観点を明記しておく。</p> <p>【時代・大まかな内容・登場人物・有名な話・文体の特徴(リズム)】</p> <p>…軍記物と琵琶法師については補足する。</p> <p>・ 資料集を見れば全員が記入できる内容としておく。</p> <p>・ ワークシートを拡大した模造紙を黒板に掲示し、書き込みながら平家物語の特徴を確認する。</p>
	<p>平家物語の特徴(七五のリズム)を意識しながら、音読練習をする。</p> <p>【音読練習①祇園精舎】…15分 七五のリズムを意識する</p> <p>1. 範読を聴く</p> <p>2. 個人練習 【5分】</p> <p>3. ペア練習Ⅰ(アドバイス) 【5分】</p> <p>4. ペア練習Ⅱ(チェック) 【5分】</p> <p>5. 代表者発表</p> <p>【音読練習②敦盛の最期】…10分 七五のリズムを意識する</p> <p>1. 範読を聴く</p> <p>2. 音読カードの使い方を知る。【5分】</p> <p>3. 個人練習</p>	<p>・ 練習の励みとなるように、音読のポイント(チェックポイント)を示した音読カードを用意する。</p> <p>・ 七五のリズムを意識した範読を心がける。</p> <p>人権教育上のポイント(聴き方・話し方・他者理解)</p> <p>・ 友達の音読を良い点を見つけながら聴き、称賛した後、よりよい音読にするためのアドバイスをする活動を取り入れる。その際、アドバイス例を示す。</p> <p>人権教育上のポイント(他者理解・自己理解)</p> <p>・ 友達の音読カードに記入する際に、励みとなる言葉を一言添えるように指示する。</p> <p>・ 抑揚や迫力のある範読を心がける。</p> <p>・ 音読カードは A:教科書そのまま B:区切りあり C:ひらがな書き下しあり の3種類から各自が興味、能力に応じて選ぶ。</p> <p>・ 家庭でも練習することが大切であることを伝える。</p>
	<p>・ 次回の内容を知る。</p>	<p>・ 次回は「敦盛の最期の音読練習と内容読解」であることを伝える。</p>